国立特別支援教育総合研究所

要覧

2022





理事長あいさつ

国立特別支援教育総合研究所（NISE）は、我が国における障害のある子供の教育の充実・発展に寄与するため、昭和46年に、当時の文部省直轄の研究所（国立特殊教育総合研究所）として設置されました。その後、国の行政改革の一環で、平成13年に独立行政法人に移行し、平成19年には「国立特別支援教育総合研究所」と名称変更して、現在に至っています。

本研究所は、令和3年に創立50周年を迎え、今年度は、51年目のスタートを切りました。

また、令和3年度からは、5年間にわたる第5期中期目標期間に入り、今年度は、その2年目に当たります。

我が国は、平成26年1月に批准した国連の障害者の権利に関する条約に基づき、そこで提唱されたインクルーシブ教育システムの構築に向けて、特別支援教育を一層推進していくこととしています。本研究所は、第五期においても、研究活動や研修事業、情報収集・発信等を行い、特別支援教育の更なる推進に努めていく所存です。

研究活動としては、重点課題研究や障害種別特定研究に取り組むことで、国の重要な政策課題や教育現場の喫緊の課題の解決に尽力します。具体的には、教育課程の編成・実施・評価・改善に関する研究やICT等の活用、就学先決定の手続き、高校における進路指導、通常の学級における教科指導上の配慮に関する研究等です。

研修事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、これまでの来所型とオンライン型の研修を適切に組み合わせて、より効果的な研修の在り方を追求したり、教員の資質向上に資する「NISE学びラボ」の改善に努めたりすることとしています。

情報収集・発信に関しては、教育委員会、特別支援教育センター、関係団体等と連携を図りながら、地域における特別支援教育の一層の理解啓発を図るための活動に努める予定です。そのため、リーフレット等の発行やセミナーの実施、SNS等の活用を進めます。

さらに、発達障害教育推進センターでは、これまで実施してきた「トライアングル」プロジェクトの成果を生かし、センターのWebサイトを通じて、発達障害教育に関する的確な情報提供に取り組みます。

インクルーシブ教育システム推進センターでは、13の自治体がそれぞれの状況に即したインクルーシブ教育システムを構築していく上で直面する課題の解決に向けて、教育委員会と研究所が協働で取り組む地域支援事業を実施します。

特別支援教育の推進には、日ごろの地道な取組が重要です。そのため、本研究所は、関係諸機関との連携協力に努め、種々の活動の更なる充実を図っていきたいと考えています。

今後とも、国民の皆様をはじめ、関係各位の一層のご理解とご支援をお願い申し上げて、挨拶とさせていただきます。

令和4年5月

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（NISE）

理事長　宍戸和成

目次

理事長あいさつ …… 1
NISEのミッション …… 2
ミッションを達成するための取組 …… 2
NISEの沿革 …… 2
NISEの組織 …… 3
NISEの研究者 …… 5
NISEの研究活動 …… 9
NISEの研修事業 …… 15
NISEの情報普及活動 …… 17
インクルーシブ教育システム推進に向けた国際事業及び自治体・学校への支援 …… 21
関係機関との連携・協力 …… 23
講義配信「NISE学びラボ」コンテンツ一覧 … 24
最新の研究成果物リスト（研究成果報告書以外） … 29
NISEの財務・施設 …… 31
連絡先・交通案内 …… 32

- 本冊子における「NISE（ナイセ）」とは、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所のことを指します。
- 本冊子の記載内容は、特に断りのない限り、令和4年5月1日現在のものです。
- **社会情勢や自然災害により、やむを得ず各事業を中止または変更させていただく場合があります。**

NISE のミッション（使命）※

我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、国や地方公共団体、関係機関等と連携・協力しつつ、教育実践を研究するフィールドを有し、実践的な研究と研修を一体的に行うことができる法人の強みを生かしながら、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献することをミッション（使命）としています。

※ミッションは令和３年３月に文部科学大臣から指示された NISE の第５期中期目標において示されたものです。

ミッションを達成するための取組

・特別支援教育に係る実際的・総合的研究の推進による国の政策立案・施策推進等への寄与及び教育現場への貢献
・各都道府県等における特別支援教育政策や教育実践等の推進に寄与する指導者の養成
・特別支援教育に関する情報普及の充実や自治体・学校への支援

ミッションを達成するための取組

昭和 46 年（1971 年）10 月
国立特殊教育総合研究所が発足

平成 13 年（2001 年）４月
独立行政法人国立特殊教育総合研究所が発足

平成 16 年（2004 年）４月
組織改編により企画部、教育支援研究部、
教育研修情報部、教育相談センター設置

平成 18 年（2006 年）５月
教育相談センターを教育相談部に改組

平成 19 年（2007 年）４月
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に名称変更

平成 20 年（2008 年）４月
教育支援研究部を教育支援部に名称変更、
発達障害教育情報センター設置、研究班体制を開始

平成 23 年（2011 年）４月
組織改編により企画部、教育支援部、教育相談部、
教育研修・事業部、教育情報部設置

平成 24 年（2012 年）４月
教育相談部を教育支援部に統合

平成 28 年（2016 年）４月
総務部、研究企画部、研修事業部、情報・支援部、
インクルーシブ教育システム推進センターの
４部１センター制に組織改編

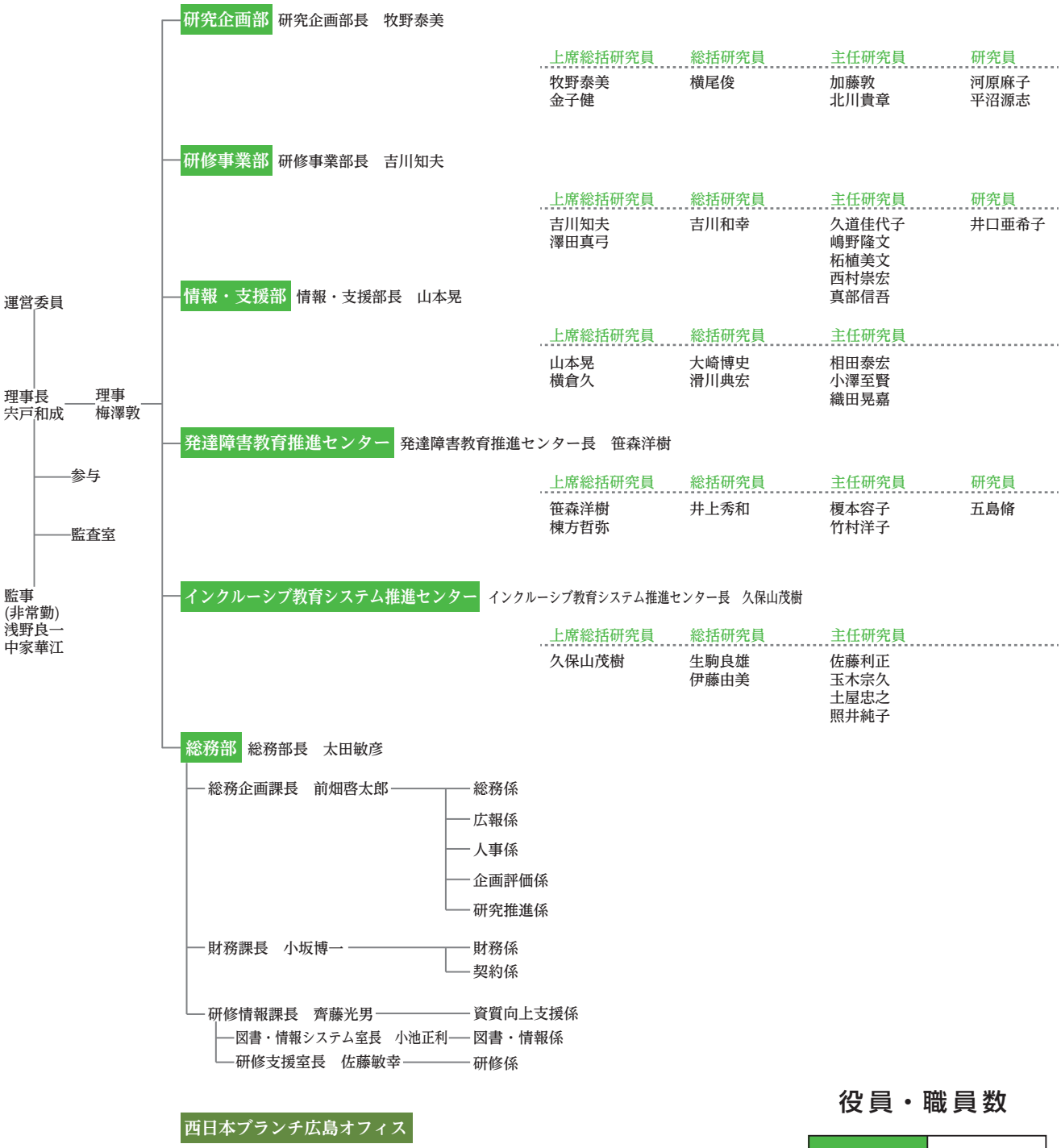
平成 29 年（2017 年）４月
総務部、研究企画部、研修事業部、情報・支援部、発達障害教育推進センター、インクルーシブ教育システム推進センターの４部２センター制に組織改編

令和３年（2021 年）４月
西日本ブランチ広島オフィス設置

令和３年（2021 年）10 月
創立 50 周年



NISEの組織



役員・職員数

役　員	2 (2)
研究職	36 (1)
一般職	32
合　計	70 (3)

（　）内は非常勤で外数

研究企画部

NISE の研究に関する総合的な企画立案及び調整、特別支援教育政策に係る情報収集、関係省庁との連携・連絡調整などの業務を行っています。

また、NISE の研究活動に関する評価の企画立案についての業務を行っています。

研修事業部

NISE が行う研修事業の企画立案、研修プログラムの開発、研修修了者のフォローアップ、インターネットによる講義配信コンテンツの作成及び提供による教員等の資質向上支援、免許法認定通信教育などの業務を行っています。

情報・支援部

特別支援教育に関する情報の収集・蓄積・提供や理解啓発活動、特別支援教育に関する教材及び教育支援機器に関する情報・資料の収集・提供や評価・活用及び関係者の支援などの業務を行っています。

また、学校教育支援・連携として、園・学校長会や特別支援教育センター等の関係団体等と連携し、特別支援教育の理解啓発を推進するための情報提供や特別支援教育の充実を図るための研究成果等の普及を行っています。海外に設置された在外教育施設に対して、定期的に特別支援教育に関する情報提供や相談支援を実施しています。

さらに、NISE が主催する研究所セミナーの企画立案及び実施、保護者団体等との連携事業の企画立案及び実施などの業務を行っています。

発達障害教育推進センター

発達障害に関する最新の情報や国の動向について、Web サイトや展示室の公開等を通じて、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教員や保護者をはじめとして幅広く国民に提供し、理解啓発を一層推進するとともに、教育現場で必要な基本的な知識と指導・支援に関する情報を提供しています。また、発達障害教育に関する研究成果の普及や教育実践セミナーの開催、教育委員会等と連携した人材育成の取組等を通じて、発達障害教育に関する実践的な指導力の向上を図っています。

インクルーシブ教育システム推進センター

インクルーシブ教育システム推進に向けて、都道府県及び市町村が直面する課題について、その解決を図るため参画した都道府県及び市町村教育委員会と NISE が協働して実施する「地域支援事業」、国際的動向や諸外国の最新情報の収集及び海外の研究機関等との研究交流を行う「国際事業」、さらに、インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクル DB）による「情報発信」等の業務を行っています。

総務部

NISE の中期計画及び年度計画の策定、広報、人事、研究支援、研修支援、図書室の運営、情報システム管理、予算・決算、施設管理や各部の業務支援などの業務を行っています。

運営委員　（令和４年５月１日現在）

石原　保志	国立大学法人筑波技術大学長
市川　宏伸	一般社団法人日本自閉症協会長
市川　裕二	全国特別支援学校長会長（東京都立あきる野学園校長）
伊藤　僚幸	国立大学法人筑波大学附属久里浜特別支援学校長
遠藤　哲也	全日本中学校長会　生徒指導部長 （葛飾区立新宿中学校長）
大関　浩仁	全国連合小学校長会　特別支援教育委員会委員長 （品川区立第一日野小学校長）
岡田　　俊	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所知的・発達障害研究部長
沖田　浩史	愛媛県総合教育センター所長
喜多　好一	全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会長 （江東区立豊洲北小学校長）
貞広　斎子	国立大学法人千葉大学大学院教育学研究科教授
滝　　充	国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センターフェロー
外山恵美子	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 障害者職業総合センター研究企画部長
新倉　　聡	横須賀市教育委員会教育長
西田　紫郎	国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局理療教育・就労支援部長
野澤　和弘	植草学園大学副学長 （一般社団法人スローコミュニケーション代表）
野呂　文行	日本特殊教育学会理事長 （国立大学法人筑波大学人間系教授）
花田　忠雄	神奈川県教育委員会教育長
松為　信雄	神奈川県立保健福祉大学・東京通信大学　名誉教授
箕輪　恵美	全国国公立幼稚園・こども園長会長 （中央区立有馬幼稚園長）
宮﨑　英憲	全国特別支援教育推進連盟理事長
茂木　裕之	全国高等学校長協会特別支援学校部会理事長 （東京都立青峰学園校長）

NISEの研究者

研究企画部

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
牧野　泰美	（兼）研究企画部長 上席総括研究員	聴覚・言語障害、コミュニケーション障害	言語指導、言語獲得、コミュニケーション関係、吃音、自己意識
	「ことばの教室」の機能・役割と担当教師の専門性 言語機能とその障害 子供と教師のコミュニケーション関係の構築 子供の言語発達への支援 吃音のある子供の自己肯定感やレジリエンスへの支援		
金子　　健	上席総括研究員	視覚障害	自立活動、触覚教材、乳幼児支援
	視覚に障害のある子供の触覚活用や空間概念形成 3D プリンターによる立体教材等の触覚教材の作成と活用 弱視用拡大教科書・拡大教材の作成と活用 乳幼児期の視覚障害児に対する支援		
横尾　　俊	総括研究員	知的障害	教育相談、聾・知的障害、イギリスの障害児教育制度
	知的障害教育論、知的障害教育における学習評価の在り方 イギリスの障害児教育制度と保護者との合意形成のプロセス		
加藤　　敦	主任研究員	盲ろう、重複障害	盲ろう教育、保護者支援、教材・教具開発
	視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろう児の理解と指導・支援 障害のある幼児児童の保護者への支援 子供の実態に応じた教材・教具の作成		
北川　貴章	主任研究員	肢体不自由	自立活動、授業研究、教育課程
	身体の動きを中心とした自立活動の指導と授業研究 個別の指導計画の作成システム 肢体不自由児の障害特性に応じた教科指導及び重度・重複障害児の指導に関する授業研究		
河原　麻子	研究員	盲ろう	コミュニケーション、就労、情報入手支援
	盲ろう児と他者とのかかわり 卒業後を見据えた盲ろう児童生徒の就労支援		
平沼　源志	研究員	知的障害、発達障害	特別支援学級、体育、アダプテッド・スポーツ
	特別支援学級担任の専門性 体育、アダプテッド・スポーツの役割		

研修事業部

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
吉川　知夫	（兼）研修事業部長 上席総括研究員	肢体不自由、言語・コミュニケーション障害	自立活動、教育課程、拡大・代替コミュニケーション
	肢体不自由及び重度・重複障害の子供の言語・コミュニケーション評価と支援 授業改善、自立活動の個別の指導計画作成		
澤田　真弓	上席総括研究員	視覚障害	自立活動、教科指導、点字指導
	視覚障害教育全般 自立活動、教科指導（国語）、点字指導（中途視覚障害の指導を含む） 拡大教科書（拡大教材作成）、デジタル教科書		
吉川　和幸	総括研究員	発達障害、知的障害	幼児期の特別支援教育、インクルーシブな保育
	障害のある幼児の個別の指導計画、保育記録、保育カンファレンス 障害のある幼児が自己発揮するための保育の環境構成、環境調整		

嶋野　隆文	主任研究員	病弱・身体虚弱、知的障害	授業研究、就学支援
	病弱教育、知的障害教育における授業作り 特別支援学校における児童生徒への教育と支援		
久道佳代子	主任研究員	重複障害、肢体不自由	授業研究、教員研修
	重複障害児童生徒の指導に関する授業研究 教員の資質能力・専門性向上のための研究・研修		
柘植　美文	主任研究員	自閉症、発達障害	やりとり、絵日記、共同注意、情動の表出
	自閉症のある子供の情動の表出に関する指導 自閉症、発達障害のある子供の実態把握と教育的支援 自閉症のある子供の自立活動の指導		
真部　信吾	主任研究員	自閉症、知的障害、発達障害	自立活動、授業研究、校内支援体制
	自閉症のある児童生徒の自立活動の指導 特別支援学校（知的障害）における授業づくり 行動障害を有する知的障害を伴う自閉症児への教育的支援		
西村　崇宏	主任研究員	人間工学、視覚障害	ヒューマンインタフェース、アクセシビリティ
	ICT 機器のユーザビリティ 視覚障害と情報アクセシビリティ		
井口亜希子	研究員	聴覚障害	言語獲得、コミュニケーション、手話・指文字
	乳幼児期の聴覚障害児の言語発達（音声言語・手指言語） 通常の学級で学ぶ聴覚障害児への支援 聴覚障害児・者への情報保障		

情報・支援部

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
山本　　晃	（兼）情報・支援部長 上席総括研究員	聴覚障害	自立活動、言語指導、授業研究
	聴覚障害児の言語指導、感情への気づきに関する研究		
横倉　　久	上席総括研究員	知的障害、聴覚障害	学校経営、教育課程、学習評価、授業づくり
	特別支援教育を推進する学校経営 特別支援学校・特別支援学級における教育課程の編成・実施・評価 一人一人の教育的ニーズに応じた教科指導・授業づくり 保護者支援・生涯学習		
大崎　博史	総括研究員	病弱・身体虚弱、知的障害、肢体不自由	自立活動、合理的配慮の提供、メタ認知、訪問教育
	病気療養中の高校生への継続的な教育保障プログラムの開発研究 合理的配慮の提供と特別支援教育を推進するための高等学校校内研修プログラムの開発研究 病弱教育、知的障害教育における自立活動の指導、訪問教育		
滑川　典宏	総括研究員	言語障害教育	言語障害教育の充実、ことばの教室、言語障害のある中学生
	ことばの教室に通う子供たちの主体的な学びを育む指導や支援 言語障害のある中学生への指導・支援の在り方、一人一人を大切にした校内支援体制づくり		
相田　泰宏	主任研究員	重複障害	進路指導、キャリア教育
	進路指導、キャリア教育		
小澤　至賢	主任研究員	重複障害	コンサルテーション、地域支援システム
	重複障害のある児童生徒の教育 学校コンサルテーション、学校評価、学校マネジメント センター的機能、スクールクラスター		
織田　晃嘉	主任研究員	肢体不自由、ICT 活用	アクセシビリティ、ICT 活用、自立活動
	肢体不自由教育における ICT 活用 肢体不自由教育における支援機器活用		

発達障害教育推進センター

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
笹森　洋樹	（兼）発達障害教育推進センター長、上席総括研究員	発達障害、情緒障害	通級による指導、LD･ADHD･ 自閉症等、学校・教師支援
	通級による指導、通常の学級における発達障害等のある児童生徒の指導・支援 不登校等の情緒障害のある児童生徒の支援 学校コンサルテーション、保護者支援		
棟方　哲弥	上席総括研究員	教育工学	アシスティブ・テクノロジー、教材・教具開発、教育の情報化、国際比較
	特別なニーズのある子供の ICT 活用（支援機器、校務支援システムを含む） 障害者権利条約実施の国際動向		
井上　秀和	総括研究員	発達障害、聴覚障害	高等学校教育、通級による指導、地域の支援体制の構築
	通常の学級における多様な教育的ニーズのある子供の教科指導上の配慮 高等学校における特別支援教育推進のための施策展開、高等学校における通級による指導		
榎本　容子	主任研究員	発達障害、職業リハビリテーション	就労支援、移行支援、キャリア教育
	発達障害者等の就労・自立に当たっての課題、福祉・労働等の関係機関との連携 高等学校・大学等から雇用への移行支援 学童期から青年期までの発達段階に応じたキャリア教育教材・体験的プログラム開発		
竹村　洋子	主任研究員	発達障害、知的障害	教師－児童間相互作用、児童とのかかわりに対する教師の評価、教師支援、連携
	通常の学級における発達障害等のある児童生徒への教育と支援 通級による指導、教師と保護者や関係機関等との連携		
五島　　脩	研究員	病弱・身体虚弱、教育工学	病弱教育、慢性疾患、ICT 活用
	病弱教育における ICT 活用・授業作り ICT を活用した教育的支援・学習環境の構築		

インクルーシブ教育システム推進センター

名前	役職	専門分野	キーワード
	研究概要、担当している研修内容や提供できる情報等		
久保山茂樹	（兼）インクルーシブ教育システム推進センター長、上席総括研究員	言語・コミュニケーション障害	子育て支援、幼稚園・認定こども園・保育所、地域の支援システム
	言語発達の遅れがある子供とのかかわり ことばの教室の役割、幼稚園・認定こども園・保育所における特別支援教育 保護者への支援・保護者との協働、地域における早期からの支援システム 乳幼児健診における発達相談		
生駒　良雄	総括研究員	教育工学、小児保健	事例調査、共起分析、地域資源、センター的機能、支援施策、教具開発、病因別統計
	学校保健 子供の身体発育と運動発達 諸外国における障害のある子供の教育		
伊藤　由美	総括研究員	発達障害、情緒障害	教育相談、心理的サポート
	発達障害のある子供への心理的サポート、通級による指導		
佐藤　利正	主任研究員	発達障害、情緒障害	自閉症・ADHD 等、自立活動、通級指導
	発達障害のある子どもの特性理解 高等学校における特別支援教育		

玉木　宗久	主任研究員	発達障害	LD･ADHD･ 自閉症等、学習のつまずき、認知機能
	LD、ADHD、自閉症等の発達障害のある子供の学習のつまずきの特性、認知特性		
土屋　忠之	主任研究員	病弱・身体虚弱	精神疾患・心身症、慢性疾患、病院内教育
	病弱教育論 病弱教育における授業論 精神疾患・心身症（こころの病気）のある児童生徒への教育的支援		
照井　純子	主任研究員	聴覚障害	センター的機能、自立活動、言語指導
	地域の学校で学ぶ聴覚障害児や保護者、学校への支援 聴覚障害児の自立活動の指導		

特任研究員

名前	専門分野	キーワード
青木　高光	知的障害、自閉症	拡大・代替コミュニケーション、教材・教具開発
李　　熙馥	自閉症、発達障害	韓国、自閉症のある自己理解・他者理解、ナラティブ、発達
是永かな子	知的障害、発達障害	北欧、学校教育制度、歴史
千賀　　愛	教育学、教育史	ドイツ、特別支援教育、インクルージョン、特別ニーズ教育、デューイ
田尻　由起	保育学、発達障害	フランス、発達心理学、特別支援教育・保育、子育て支援
星　　祐子	重複障害	盲ろう教育、教育相談、保護者支援
山中　冴子	比較教育、オーストラリア教育	オーストラリアにおけるトランジション支援、オーストラリアにおけるインクルーシブ教育
吉利　宗久	特別支援教育の学校制度	インクルーシブ教育、教育政策、アメリカの教育
渡邊　あや	教育学、教育社会学、比較国際教育学	フィンランド、教育制度、教育行政、教育政策、比較教育学

NISEの研究活動

● 研究体制

令和４年度は、重点課題研究、障害種別特定研究、基礎的研究活動等を戦略的かつ組織的に実施します。

研究区分		研究の性格
重点課題研究		障害種の枠を超えて、国の特別支援教育政策の推進、又は教育現場等の喫緊の課題解決に寄与する研究 ・教育課程に関する研究（国への政策貢献） ・切れ目ない支援の充実に関する研究（教育現場等の喫緊の課題に対応）
障害種別特定研究		各障害種における喫緊の課題の解決に寄与する研究
その他	基礎的研究活動	テーマ別研究班及び障害種別専門分野の課題に対応する研究班における基盤的な研究。年次基礎調査や、指導の充実等に寄与する調査・分析、それらの結果の普及等の基礎的・継続的な研究活動
	外部資金研究	科学研究費助成金等の外部資金を獲得して行う研究
	受託研究	外部からの委託を受けて行う研究

※この他、研究区分として、先端的・先導的研究、国の要請等に応じた研究、共同研究を設定しています。

● 重点課題研究

令和４年度研究課題一覧

研究の類型	研究課題名	研究チーム	研究代表者	研究期間
教育課程に関する研究	学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施・評価・改善に関する研究	教育課程チーム	吉川　知夫	令和３～令和４年度
切れ目ない支援の充実に関する研究	ＩＣＴ等を活用した障害のある児童生徒の指導・支援に関する研究	ＩＣＴチーム	棟方　哲弥	令和３～令和４年度
	障害のある子どもの就学先決定の手続きに関する研究	就学チーム	久保山茂樹	令和３～令和４年度
	高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究	進路指導チーム	伊藤　由美	令和３～令和５年度
	通常の学級における多様な教育的ニーズのある児童生徒の教科指導上の配慮に関する研究	教科指導チーム	井上　秀和	令和３～令和４年度

● 障害種別特定研究

令和４年度研究課題一覧

研究課題名	研究チーム	研究代表者	研究期間
知的障害教育における授業づくりと学習評価に関する研究	学習評価チーム	横尾　俊	令和３～令和４年度

● 基礎的研究活動

障害種の枠を超えて、今後の学校教育において検討すべき課題や現場の喫緊の課題について基礎的な調査を含めた研究活動を行う４つのテーマ別研究班と、９つの障害種別専門分野の課題に対応する研究班で構成されています。

令和４年度研究班一覧

研究班		班　長	副班長
テーマ別研究班	特別支援教育におけるＩＣＴ、教材・教具の活用に関する研究班（ＩＣＴ班）	西村　崇宏	玉木　宗久
	障害のある児童生徒のキャリア教育及び就労支援に関する研究班（キャリア班）	榎本　容子	伊藤　由美 相田　泰宏
	乳幼児期の特別支援教育に関する研究班（幼児班）	久保山茂樹	吉川　和幸 嶋野　隆文
	外国につながりのある子供の特別支援教育に関する研究班（外国人等班）	澤田　真弓	滑川　典宏
障害種別専門分野の課題に対応する研究班	視覚に障害のある子供の特別支援教育に関する研究班（視覚班）	金子　　健	－
	聴覚に障害のある子供の特別支援教育に関する研究班（聴覚班）	山本　　晃	－
	知的障害のある子供の特別支援教育に関する研究班（知的班）	横倉　　久	平沼　源志
	肢体不自由のある子供の特別支援教育に関する研究班（肢体不自由班）	北川　貴章	－
	病弱・身体虚弱等の子供の特別支援教育に関する研究班（病弱班）	土屋　忠之	大崎　博史
	言語に障害のある子供の特別支援教育に関する研究班（言語班）	滑川　典宏	久保山茂樹
	自閉症のある子供の特別支援教育に関する研究班（自閉症班）	柘植　美文	真部　信吾
	発達障害のある子供又は情緒障害のある子供の特別支援教育に関する研究班（発達・情緒班）	井上　秀和	伊藤　由美
	重複障害のある子供の特別支援教育に関する研究班（重複班）	小澤　至賢	加藤　　敦

詳しくはこちら→　NISE　Web サイト ＞ 研究紹介
https://www.nise.go.jp/nc/study

● 外部資金研究

令和４年度に科学研究費助成事業（科研費）により実施する研究課題は以下のとおりです。

令和４年度科研費による研究課題一覧

研究種目	研究課題名	研究代表者	研究期間
基盤研究（B）	企業ニーズを踏まえた発達障害学生のキャリア意思決定を支える研修プログラムの開発	榎本　容子	令和２～５年度
基盤研究（C）	通常学級担任教師と他者との連携に関する研究：特別支援教育連携尺度の開発	竹村　洋子	平成 29 ～令和４年度
	特別支援学校（肢体不自由）における意思決定論的アプローチに基づく授業開発研究	北川　貴章	平成 30 ～令和４年度
	通級による指導における発達障害のある子どもへの自尊感情の支援に関する研究	伊藤　由美	平成 30 ～令和４年度
	中学ことばの教室担当者の役割とあり方に関する研究－教室経営ガイドブックの作成－	滑川　典宏	平成 30 ～令和４年度
	合理的配慮の提供と特別支援教育を推進するための高等学校校内研修プログラムの開発	大崎　博史	平成 30 ～令和４年度
	心の病気（適応の困難や発達障害の二次的障害含む）のある児童生徒への自立活動の提案	土屋　忠之	令和元～４年度
	共生社会の担い手を育む場としての幼稚園の役割	久保山茂樹	令和元～４年度
	吃音のある子どものレジリエンスの向上を目指した対話型教育実践プログラムの構築	牧野　泰美	令和２～４年度
	算数指導に生かせるアイトラッキングを用いた新しい学習評価法の開発	玉木　宗久	令和２～４年度
	聴覚障害児における抽象語理解の現状とその発達的特徴に関する研究	山本　　晃	令和３～５年度
	中学校ことばの教室に通う言語に障害のある生徒の主体性を育む指導・支援の実践的研究	滑川　典宏	令和３～５年度
	高等学校における特別支援教育推進のための施策展開に関する研究	井上　秀和	令和３～５年度
	インクルーシブな保育を創出する保育者の実践知に関する縦断的研究	吉川　和幸	令和４～７年度
	通常の学級における発達障害支援：通級と連携した個別の指導計画の作成・活用の方策	竹村　洋子	令和４～７年度
	修学の意思のある病気療養中の高校生への継続的な教育保障促進プログラムの開発	大崎　博史	令和４～６年度
	病弱教育における ICT 活用推進に向けた全国の実態調査と恒常的課題解決に関する研究	五島　　脩	令和４～６年度
挑戦的研究（萌芽）	発達障害のある子どものキャリア発達支援に向けた家庭教育プログラムの開発	榎本　容子	令和２～４年度
若手研究	特別支援学級担任の省察に基づく専門性の解明に関する基礎的研究	平沼　源志	令和元～４年度
	全盲児の能動的なタブレット活用を支援する触運動学習システムの開発	西村　崇宏	令和３～５年度
研究活動スタート支援	手指・音声言語獲得期における聴覚障害幼児の指文字習得過程に関する研究	井口亜希子	令和３～４年度
	行動障害への対応に関する内容を含む自閉症教育モジュール型研修プログラムの開発	真部　信吾	令和３～４年度
	盲ろう児に対するコミュニケーション指導アプローチの検討	河原　麻子	令和３～４年度

● 受託研究

令和４年度に実施する受託研究課題は以下のとおりです。

令和４年度受託研究課題一覧

研究課題名	委託機関	研究代表者	研究期間
盲ろう幼児児童生徒の支援体制整備に関わる研究	一般財団法人ファーストリテイリング財団	－	令和２～４年度

● 刊行物による研究成果等の普及

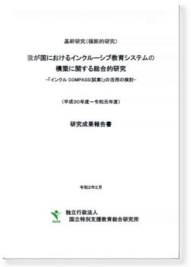
NISE では、実施した研究の成果を、研究成果報告書やサマリー集、ガイドブック等、様々な形態で作成し、全て Web サイト上に掲載することで、最新の研究成果をできる限り早く教育現場にお伝えできるようにしています。

研究成果報告書、書籍、リーフレット

NISE では、実施する研究課題が終了した時点で、その成果をまとめた「研究成果報告書」を研究課題ごとに作成し、Web サイトにも掲載しています。

さらに、研究課題ごとの成果等を簡潔にまとめた「研究成果報告書サマリー集」を作成し、全国の教育関係機関等に送付するとともに、Web サイトにも掲載しています。

また、研究成果の中で、教育現場での指導や支援等にすぐに役立つ情報については、活用しやすいようにリーフレットやガイドブック等にまとめたり、市販の書籍として発行したりしています。

研究成果報告書	研究成果報告書サマリー集（令和２年度終了課題）　令和３年５月	
	我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究 －地域と学校での主体的取組を支援する「インクル COMPASS」の提案－ 令和３年３月	
	特別支援教育における教育課程に関する総合的研究 －新学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施に向けた現状と課題－ 令和３年３月	
	聴覚障害教育におけるセンター的機能の充実に関する研究 －乳幼児を対象とした地域連携－　令和３年３月	
	知的障害特別支援学級担当者サポートキットの開発 －授業づくりを中心に－　令和３年３月	
	小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究　令和３年３月	
	社会とのつながりを意識した発達障害等への専門性のある支援に関する研究 －二次的な障害の予防・低減に向けた通級による指導等の在り方に焦点を当てて－　令和３年３月	
	インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究 令和３年３月	
	交流及び共同学習の充実に関する研究　令和３年３月	
ガイドブック	肢体不自由特別支援学級の指導ガイドブック －日々の指導に生かす肢体不自由教育の基礎・基本－改訂版 令和４年３月	
	「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」事例整理集　令和３年７月	
	病気療養等により支援が必要な児童生徒のための遠隔教育 Q & A 令和３年７月	
	インクルーシブ教育システムの推進を目指す特別支援学級の教育課程編成・実施ガイドブック －知的障害および自閉症・情緒障害特別支援学級を中心に－ 令和３年３月	
	視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろうの子どもたちの育ちと学びのために ー教職員、保護者、関係するみなさまへー　令和３年３月	

書籍	特別支援教育の基礎・基本 2020 （株）ジアース教育新社，ISBN978-4-86371-548-6　令和２年６月	
	特別支援学級での自閉症のある子どもの自立活動の指導 －確かに育つ！子ども、確かに高まる！教師の指導力－ （株）ジアース教育新社，ISBN978-4-86371-575-2　令和３年３月	
	ここにヒントがある！インクルーシブ教育システムを進める 10 の実践 －「インクル COMPASS」で強みや課題をみつけよう－ （株）ジアース教育新社，ISBN978-4-86371-574-5　令和３年３月	
リーフレット ・ 事例集 ・ 調査報告書	知的障害特別支援学級の授業づくり『すけっと』がお助けします！ 令和３年７月	
	特別支援教育における教育課程に関する総合的研究 －新学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施に向けた現状と課題－ 令和３年３月	
	発達障害のある子供の教育に関わる全ての教員の皆様へ もしかして、それ・・・二次的な障害を生んでいるかも・・・？ 令和３年３月	
	全国小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する状況 令和３年３月	
	小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための 地域資源を活用した授業改善に関する研究　令和３年３月	
	難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた研修パッケージ 令和３年３月	
	重複障害のある子供の教育に関する調査報告書　令和３年３月	

研究紀要

NISE では、特別支援教育に関する未発表の論文等を所内より募集し、内容審査を行った上で、「国立特別支援教育総合研究所研究紀要」として毎年度発表しています。研究紀要は、Web サイトに掲載しています。

◆ 研究紀要第 49 巻（令和４年３月発行）の内容

① 原著論文
- 英国の通常の学級に在籍する盲ろう児の教科の時間におけるクラスメイトとの関わり
  －英国の小学校における一事例から－

② 調査資料
- 小・中学校における肢体不自由特別支援学級の特徴
  －平成 26 年及び令和元年に実施した全国調査結果の比較を通して

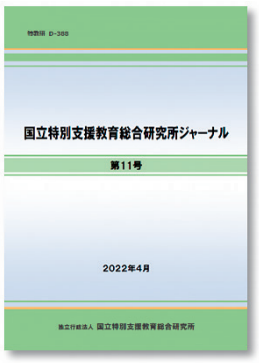
③ 事例報告
- 特別支援学級の授業づくりに必要とされる専門性の検討
  －小学校知的障害特別支援学級を対象とした授業研究を中心に－



特総研ジャーナル

NISE では、研究をはじめとする様々な活動の成果をまとめた「国立特別支援教育総合研究所ジャーナル（特総研ジャーナル）」を毎年度作成し、Web サイトに掲載しています。

◆ 特総研ジャーナル第 11 号（令和 4 年 4 月発行）の内容



① 令和 3 年度研究活動報告
- 研究課題一覧
- 基礎的研究活動リポート

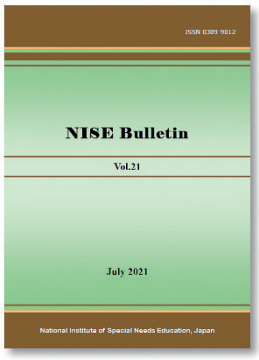
② 事業報告
- 神奈川県教育委員会と国立特別支援教育総合研究所との連携による活動の報告
- インターネットによる講義配信「NISE 学びラボ」の充実と利用・活用促進の取組について
- 特別支援教育に関する情報普及の充実等を目指して
- 発達障害者支援のための教育と福祉の連携・協働に係る取組
- インクルーシブ教育システム推進センター事業報告

③ 諸外国の動向調査

④ ＮＩＳＥトピックス

NISE Bulletin

NISE では、研究をはじめとする様々な活動の成果を英文でまとめた「NISE Bulletin」を毎年度作成し、Web サイトに掲載しています。



◆ NISE Bulletin Vol.21（令和 4 年 7 月発行予定）の内容

- 令和 3 年度研究活動報告
- 令和 2 年度研究成果サマリー
- トピックス
- 特別支援教育資料の概要
- 国立特別支援教育総合研究所研究紀要第 49 巻の要旨



屋上からの景色

詳しくはこちら→

NISE　Web サイト ＞ 報告書・資料
https://www.nise.go.jp/nc/report_material

NISEの研修事業

● 都道府県等における指導者の養成を目的とする研修の実施

NISE では、インクルーシブ教育システムの充実に向けて、各都道府県等における特別支援教育政策や教育実践等の推進に寄与する指導者の養成を図るため、各都道府県等における障害種ごとの教育の中核となる教職員を対象とした専門的・技術的な研修及び各都道府県等における指導的立場にある教職員を対象とした特別支援教育政策上や教育現場等の喫緊の課題等に対応した専門的・技術的な研修として、以下の研修を実施しています。

令和 4 年度研修事業計画

名　称			期間	募集人員
特別支援教育専門研修	第一期	知的障害教育コース ・知的障害教育専修プログラム	令和 4 年 5 月 9 日（月）～ 7 月 8 日（金） ※集合・宿泊研修期間： 5 月 30 日～ 6 月 17 日	70 名
	第二期	視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース ・視覚障害教育専修プログラム ・聴覚障害教育専修プログラム ・肢体不自由教育専修プログラム ・病弱教育専修プログラム	令和 4 年 9 月 6 日（火）～ 11 月 11 日（金） ※集合・宿泊研修期間： 10 月 3 日～ 10 月 21 日	70 名
	第三期	発達障害・情緒障害・言語障害教育コース ・発達障害・情緒障害教育専修プログラム ・言語障害教育専修プログラム	令和 5 年 1 月 11 日（水）～ 3 月 15 日（水） ※集合・宿泊研修期間： 1 月 30 日～ 2 月 17 日	70 名
インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会・セミナー	特別支援教育における ICT 活用に関わる指導者研究協議会		令和 4 年 7 月 21 日（木）～ 7 月 22 日（金）	70 名
	高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会		令和 4 年 9 月 1 日（木）～ 9 月 2 日（金）	70 名
	交流及び共同学習推進指導者研究協議会		令和 4 年 11 月 25 日（金） ※オンライン実施	70 名
	発達障害教育実践セミナー		令和 5 年 1 月 26 日（木） ※オンライン実施	70 名 程度
連携研修	特別支援学校寄宿舎指導実践協議会		令和 4 年 8 月 26 日（金） ※オンライン実施	50 名 程度

上記の他、「難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた地区別研究協議会」を、北海道・東北地区、関西地区及び中国・四国地区を対象に開催を予定しています。

いずれも、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置を図った上で実施します。

昭和 46 年の NISE 創設と同時に研修事業を開始して以来、令和 4 年 3 月 31 日現在、特別支援教育専門研修の受講者数は 10,038 名※、その他の研修の受講者数も 12,669 名を数え、それぞれの課程を修了しています。これらの方々は、全国の学校や教育関係機関等で活躍されています。

※ 特別支援教育専門研修の前身である特殊教育中堅教員養成研修（短期研修）の修了者数を含んでいます。

詳しくはこちら→　NISE　Web サイト ＞ 研修
https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar

● 幅広い教職員の資質向上に係る支援

NISE では、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、全ての学校種の教員について特別支援教育に関する知識・技能を身に付けることが求められていることから、幅広い教職員の資質向上を図る主体的な取組を支援するための事業を実施しています。

インターネットによる講義配信「NISE 学びラボ～特別支援教育 e ラーニング～」

NISE では、各都道府県等において障害のある児童生徒等の教育に携わる教員をはじめ、幅広い教職員の資質向上を図る主体的な取組を支援するため、インターネットによる講義配信を行っています。

講義内容は、以下の内容に区分され、約 170 の講義コンテンツを配信しています。

・インクルーシブ教育システムの構築など特別支援教育全般の基礎理論や総合的・横断的な内容
・各障害種別の専門性（概論、教育課程、指導法等）に関する内容
・通常の学級における学びの困難さに応じた指導に関する内容

個人利用の登録を行うことによって、全ての講義について、パソコンやタブレット端末、スマートフォン等から無料で視聴できます。また、団体利用の登録を行った教育委員会や学校等は、受講者のニーズに合わせて研修プログラムを設定し、教職員等の研修に活用することができます。

講義配信コンテンツは、P24 ～ 28「講義配信『NISE 学びラボ』コンテンツ一覧」をご覧ください。

詳しくはこちら→

NISE　Web サイト > NISE 学びラボ
https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online

免許法認定通信教育

NISE では、特別支援学校教諭免許状取得率の向上に寄与することを目的として、特に免許状取得率の低い視覚障害教育領域及び聴覚障害教育領域について、教育職員免許法施行規則第七条表の第二欄に掲げる科目のインターネットによる免許法認定通信教育を開講しています。受講料は無料です。

◆ 令和 4 年度実施概要

［前期］
開設科目：視覚障害児の心理、生理及び病理（1 単位）
　　聴覚障害児の心理、生理及び病理（1 単位）
講習期間：令和 4 年 5 月 9 日（月）～令和 4 年 8 月 19 日（金）
単位認定試験日：令和 4 年 9 月 11 日（日）
受講定員：各科目 200 名

［後期］
開設科目：視覚障害児の心理、生理及び病理（1 単位）
　　聴覚障害児の心理、生理及び病理（1 単位）
講習期間：令和 4 年 10 月 3 日（月）～令和 5 年 1 月 13 日（金）
単位認定試験日：令和 5 年 2 月 5 日（日）
受講定員：各科目 200 名



※映像講義のイメージです。
読み上げ原稿も表示しています。

詳しくはこちら→

免許法認定通信教育総合情報サイト
http://forum.nise.go.jp/tsushin/

NISEの情報普及活動

● セミナー等を通じた情報普及

特別支援教育推進セミナー

全国を地区ブロックに分け、ブロック内の特別支援教育の理解啓発を図るための特別支援教育推進セミナーを年間３回開催しています。

令和４年度は、関東甲信越ブロック、東海・北陸ブロック、近畿ブロックを対象に開催し、各地域の課題や必要としている情報を把握し、各関係団体等と連携して、特別支援教育等に関する有益な情報を提供し、ブロック内の交流促進や関係構築を図ります。

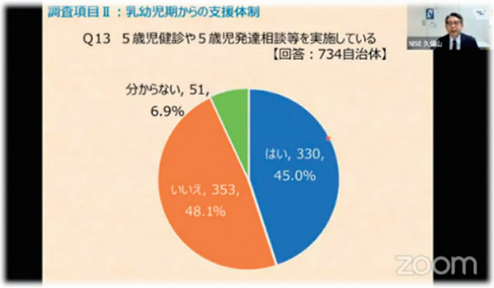


特別支援教育推進セミナー
オンライン配信の様子（令和３年撮影）

研究所セミナー

インクルーシブ教育の進展に向けて、令和４年度に NISE で実施した研究や特別支援教育の重要課題についての報告や講演などを行います。

期　日：令和５年３月４日（土）
会　場：一橋大学一橋講堂
　　（東京都千代田区）



研究所セミナー分科会の様子（令和３年度）



研究所セミナー開会式の様子（令和３年度）

※ 新型コロナウイルス感染症対応のため、開催期日、会場、開催方法を変更する場合もあります。

詳しくはこちら→　NISE　Web サイト＞研究所セミナー
https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/special_seminar

世界自閉症啓発デー関連事業

毎年４月２日は国連で定められた世界自閉症啓発デーです。世界自閉症啓発デーに関連するイベント等を関係機関との共催で毎年開催しています。

詳しくはこちら→　世界自閉症啓発デー公式サイト
http://www.worldautismawarenessday.jp/htdocs/

● Web サイトを通じた情報普及

NISE では、特別支援教育全般に関する情報をはじめ、インクルーシブ教育システム構築に関する情報、発達障害に関する情報、教材や支援機器の実践事例等、様々なニーズに応じた形で Web サイトを通じて用意しており、特別支援教育の関係者はもちろん、広く多くの方を対象とした情報提供を行っています。

発達障害教育推進センター Web サイト、発達障害ナビポータル

発達障害教育推進センターは、全ての国民が発達障害を理解し、共に手を携える共生社会を目指した理解啓発を目的として、Web サイト等を通じて広く情報普及活動に取り組んでいます。

また、発達障害のあるご本人やご家族に向けた情報を中心に、その暮らしを支える教育、医療、保健、福祉、労働の各分野の情報を発信する国のサイト「発達障害ナビポータル」を国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センターと共同で運営しています。



発達障害教育推進センター



発達障害ナビポータル

詳しくはこちら→

発達障害教育推進センター　Web サイト
http://cpedd.nise.go.jp/

発達障害ナビポータル
https://hattatsu.go.jp/

インクルーシブ教育システム推進センター Web サイト

インクルーシブ教育システム推進センターの Web サイトでは、インクルーシブ教育システム構築を一層推進するために、本センターが取り組んでいる業務について情報提供をしています。

◆ Web サイトを通じて提供している情報の主な内容

・インクルーシブ教育システムに関する基礎知識
・地域支援事業に参画した自治体の実施報告
・諸外国の最新情報と国際交流に関する情報
・インクルＤＢ（合理的配慮の実践事例等）と活用方法



詳しくはこちら→

インクルーシブ教育システム推進センター　Web サイト
https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center

特別支援教育教材ポータルサイト（支援教材ポータル）

平成 25 年 8 月、文部科学省が設置した「障害のある児童生徒の教材の充実に関する検討会」による報告において、国等の役割として、「障害の状態や特性に応じた教材や支援機器、指導方法、活用事例等に関する全国レベルで情報交換するためのデータベースの作成」が示されました。

これを受けて、NISE では、教材・支援機器の活用に関する実践事例や関連情報を広く提供するために、「特別支援教育教材ポータルサイト」を、平成 27 年 3 月から運用しています。



詳しくはこちら→

特別支援教育教材ポータルサイト
http://kyozai.nise.go.jp/

● 研究所の展示室・演習室

発達障害教育推進センター展示室

発達障害に関する理解の促進、適切な対応や支援の充実を目的として、発達障害に関する基本的な理解、対応や支援に関するパネル展示、教材・教具や支援ツール、参考図書等の紹介を行っています。発達障害の特性を体験的に学ぶコーナーもあります。



教育支援機器等展示室［ｉライブラリー］

ｉライブラリーは、障害のある子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を実現する様々な教育支援機器やソフトウエアの展示室です。

主に、学校で利用可能な市販品を障害種ごとにコーナを設け、説明パネル等を使ってわかりやすく紹介しています。



詳しくはこちら→

ｉライブラリー　Web サイト
http://forum.nise.go.jp/ilibrary

ICT 活用実践演習室［あしたの教室（通称）］

あしたの教室（通称）では、GIGA スクール構想による 1 人 1 台のタブレット型端末をはじめとする ICT 機器を活用した指導方法や、教室における合理的配慮の可能性を体験的に学ぶことができます。

この教室では、教員研修等で模擬授業等の演習（遠隔による配信を含む。）を行うことが可能です。研究所がこれらの体験的な学びを通して得られる知見を整理して発信することや、特別支援教育に役立つ基礎的研究活動の研究設備としての機能を担っています。



● 図書室

NISE の図書室では、特別支援教育に関する国内外の図書等を収集・整理・保存し、閲覧、文献複写等のサービスを行っています。

特別支援教育の専門書を中心とする図書約 80,000 冊、学術雑誌等の逐次刊行物約 2,000 種類のほか、全国の特別支援教育関係機関が発行する研究・実践報告書など約 30,000 冊の資料を所蔵し、これらの蔵書目録をインターネット上で公開しています。

NISE の図書室はどなたでも利用できます。ご利用の際は、Web サイトの専用フォーム、メール又は FAX にて事前連絡をお願いします。

メール：a-tosho@nise.go.jp

FAX：046-839-6939



特色ある所蔵資料

名　称	内　容
研修成果報告書	NISE が実施する特別支援教育専門研修の受講者が、修了時に約 2 ヶ月間の研修成果をまとめた研修レポートをはじめ、NISE 創設以来の研修成果報告書を保管しています。
特別支援教育関係機関刊行物	文部科学省発行資料や、全国の特別支援教育関係機関が発行した研究・実践成果報告書等の刊行物を網羅的に収集し、保管しています。
辻村文庫	NISE 初代所長である故・辻村泰男氏の旧蔵書のうち、ご遺族より寄贈していただいた特別支援教育関係資料約 500 冊を、「辻村文庫」として別置し、保管しています。

詳しくはこちら→　**NISE　Web サイト ＞ 図書室の利用**
https://www.nise.go.jp/nc/library

● 研究所公開

NISE にある情報普及のための施設を見学できます。
体験型の展示を通し研究成果等を紹介しています。

会　場：国立特別支援教育総合研究所
（神奈川県横須賀市）





研究所公開の様子（令和元年 11 月撮影）

詳しくはこちら→　**NISE　Web サイト ＞ 研究所公開**
https://www.nise.go.jp/nc/laboratory_release

インクルーシブ教育システム推進に向けた国際事業及び自治体・学校への支援

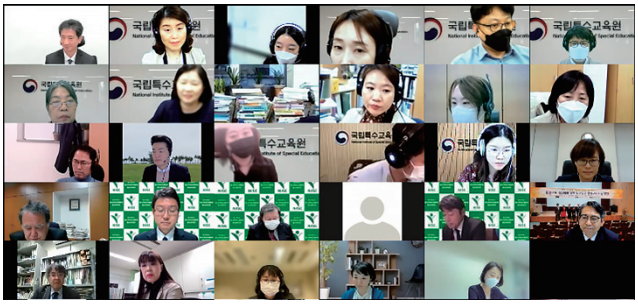
● 諸外国の最新動向の把握や海外の機関との研究交流

諸外国の最新動向に関する情報収集と発信

NISE では、我が国の特別支援教育の取組や研究成果を海外に情報発信するとともに、国別調査班を組織し、特任研究員の協力により諸外国の障害のある子供の教育に関する政策等の状況を収集しています。調査結果は、NISE の Web サイトや「特総研ジャーナル」等を通じて公表しています。

海外の研究機関等との交流

海外の研究機関等と交流協定を締結し、研究職員の派遣や海外からの研究者等の招聘等、特別支援教育やインクルーシブ教育システムに関する情報交換や研究者間の交流を行っています。令和４年度は、韓国国立特殊教育院主催の国際セミナーへの参加や、本研究所と韓国国立特殊教育院との特別支援教育に関する協議会の開催を計画しています。



韓国国立特殊教育院との日韓特別支援教育協議会（令和３年度）

【研究交流協定締結機関】

韓国国立特殊教育院（平成７年 11 月締結 , 令和元年７月再締結）
ケルン大学人間科学部（平成 10 年 11 月締結）
フランス国立特別支援教育高等研究所（平成 27 年３月締結）



韓国国立特殊教育院との覚書署名式（令和元年度）

研究職員の海外派遣や海外の研究者等の受入

国際会議への参加・発表やインクルーシブ教育システムに関する状況調査等のため、研究職員を海外に派遣し、研究交流を行っています。また、独立行政法人国際協力機構（JICA）等の依頼により、海外の教育行政担当者や学校教員等の視察・研修を受け入れています。

● 地域支援事業

NISE では、地域におけるインクルーシブ教育システム構築を一層推進するために、「地域支援事業」を実施しています。これは、各都道府県及び市町村がインクルーシブ教育システムを構築していく上で直面する課題について、その解決を図るための事業であり、事業に参画した都道府県及び市町村教育委員会と NISE が協働して推進するものです。推進に当たっては、第４期中期目標期間中に実施した「地域実践研究」等の取組や成果も活用しています。



オンラインでの情報交換の様子（令和３年度）

令和４年度は、全国８道府県の 13 県市町が参画し、インクルーシブ教育システムの理解啓発の取組、地域の支援体制の構築、校内研修の推進など、県市町の課題や目的に応じた事業に取り組んでいます。事業の成果は、各県市町において報告会の実施やリーフレットの作成等を通じて普及する他、事業報告書等を NISE の Web サイトに掲載するなどして普及する予定です。

● 地域実践研究事業報告

第４期中期目標期間に、インクルーシブ教育システム構築に向けて地域や学校の直面する課題を研究テーマとして実施した地域実践研究事業の成果を「地域実践研究事業報告書」としてまとめ、ホームページから提供しています。

また、各自治体の研究成果は、リーフレット等にまとめ、NISE の Web サイトで紹介しています。

令和２年度報告書



各自治体の研究成果



● インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルＤＢ）

NISE では、インクルーシブ教育システム構築に関連する様々な情報を広く提供するために、「インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルＤＢ）」を、平成 25 年 11 月から運用しています。インクルＤＢは、子供の実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる事例を掲載しています。

◆ インクルＤＢのコンテンツ

【「合理的配慮」実践事例データベース】

文部科学省の委託事業「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」及び「発達障害の可能性のある児童生徒の多様な特性に応じた合理的配慮研究事業」において取り組まれた実践事例について掲載しています。

実践事例データベースは、子供の在籍する学校や障害種別等で事例を検索できるようになっています。検索した事例をダウンロードすることで詳細な情報が得られます。

令和４年４月現在、590 件の実践事例を掲載しています。



【インクルＤＢを活用した研修例】

インクルＤＢを活用した研修プログラム案や実際に行われた研修や授業等を紹介しています。

【交流及び共同学習実践事例集】

心のバリアフリー学習推進会議の提言に基づき、交流及び共同学習についての関連情報や事例を掲載しています。

【関連情報】

・法令・施策や関連用語の解説など
・インクルーシブ教育システム構築に関する保護者向けのＱ＆Ａ
・研究報告や関連する Web サイトへのリンク
・教育相談に関する情報
・学校における遠隔授業や動画配信等の情報

詳しくはこちら→

インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクル DB）
http://inclusive.nise.go.jp/

● インクルーシブ教育システム構築に関する相談支援

NISE では、各都道府県等からのインクルーシブ教育システムの構築に関する相談に対して、研修会等への講師派遣や、地域実践研究の取組や成果の提供等を通じて支援を行っています。

関係機関等との連携・協力

● 全国の教育委員会、学校、関係団体、大学との連携・協力

NISE では、全国の教育委員会、特別支援教育センター、園・学校等を研究協力機関として公募するとともに、テーマ別研究班において、関係機関と連携を図るなど、実際的・実践的な研究の円滑な推進に努めています。令和３年３月には、広島大学との包括連携協定を締結し、同年４月に西日本ブランチ広島オフィスを開設したり、同年 10 月に、神奈川県教育委員会との連携・協力協定を締結したりと、各機関と連携して行う取組が、全国の学校や教育委員会の課題解決に貢献できるよう努めています。



神奈川県庁で行われた協定締結式

また、関係学校長会等が実施する調査研究への協力を行うほか、全国特別支援教育推進連盟と連携・協力し、文部科学省と三者共催で全国特別支援教育振興協議会を開催しています。

さらに、全国の都道府県・政令指定都市立教育センターが加入する全国特別支援教育センター協議会と連携して、各センターの機能向上のため、研究協議会を年１回開催しています。

● 日本人学校等への支援

NISE では、日本人学校等に対して、NISE の研究成果や動画コンテンツのリーフレットなど、特別支援教育に関連する情報を「特別支援教育サポート通信」や「特総研だより」などを通じて年 15 回程度、提供しています。また、日本人学校へメール等による相談支援を実施しています。

さらに、文部科学省と連携して日本人学校における特別支援教育の状況調査を実施し、在外教育施設に赴任する教員の研修会等において、情報提供を行っています。

● 筑波大学附属久里浜特別支援学校との相互協力

筑波大学附属久里浜特別支援学校の前身である国立久里浜養護学校は、昭和 48 年９月に、国立特殊教育総合研究所（当時）が行う実際的な研究に協力する目的で、重度・重複障害児を対象に教育を行う学校として設置されました。その後、平成 16 年４月に、国立久里浜養護学校当時の実践を踏まえつつ、知的障害を伴う自閉症の子供たちに対して、幼稚園及び小学校に準ずる教育を行い、併せてその障害を補うために必要な知識技能を授けるため、筑波大学附属久里浜養護学校として設置されました。その後、平成 19 年に筑波大学附属久里浜特別支援学校と改称しています。

NISE と筑波大学は、平成 16 年７月に教育研究交流に係る協定を締結し、NISE と同校は相互協力の下に様々な取組を推進しています。

筑波大学附属久里浜特別支援学校 Web サイト
https://www.kurihama.tsukuba.ac.jp/



筑波大学附属久里浜特別支援学校

講義配信「NISE学びラボ」コンテンツ一覧

「特別支援教育全般」一覧

令和４年６月１日現在

コース	コンテンツ名
インクルーシブ教育システム関連	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（1）障害児教育の歴史
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（2）特別支援教育の理念と基本的な考え方
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（3）学習指導要領と教育課程
	特別支援教育におけるＩＣＦの活用
	特別支援教育における教材・教具の活用
	特別支援教育におけるＩＣＴの活用
	特別支援教育におけるカウンセリング技法
	インクルーシブ教育システムにおける交流及び共同学習
	個別の教育支援計画と個別の指導計画① 学習指導要領上の位置付けと役割
	個別の教育支援計画と個別の指導計画② 作成と活用
	自立活動の指導－指導計画の作成－
	インクルーシブ教育システムの構築
	インクルーシブ教育システムにおける専門性と研修
	特別支援学校の地域におけるセンター的機能① －センター的機能の考え方と内容－
	特別支援学校の地域におけるセンター的機能② －センター的機能が有効に発揮されるために－
	障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援
	合理的配慮と基礎的環境整備
	特別支援教育の視点を生かした学校経営
	障害のある児童生徒における学習評価
	通常の学級における個々の子供への指導や支援
各学びの場における教育	多様な学びの場（1）特別支援学校の教育
	多様な学びの場（2）小学校・中学校等①
	多様な学びの場（2）小学校・中学校等②
	「通級による指導」の成立とその意義
	通級による指導を担当する皆さんへ「初めて通級による指導を担当する教師のためのガイド」の活用について
幼児期における特別支援教育	幼児期における特別支援教育の考え方
	幼児期の具体的な関わり方の実際
	幼児期の関係機関との連携
	幼児期の子どもをもつ保護者とのかかわり
	幼児期の個別の指導計画の作成と活用
高等学校段階における特別支援教育	高等学校に求められる合理的配慮と基礎的環境整備
	高等学校における校内支援体制づくり（1）
	高等学校における校内支援体制づくり（2）

「特別支援教育全般」一覧（つづき）

令和４年６月１日現在

コース	コンテンツ名
高等学校段階における特別支援教育	高等学校における特別な配慮を要する生徒への進路指導
	高等学校における特別支援教育に関する研修及び授業研究の進め方
	高等学校段階（思春期）における障害のある生徒の心理と自己理解
役割と連携	小学校・中学校管理職のための特別支援学級における教育課程編成
	特別支援教育コーディネーター－役割と活動を中心に－
	教育と福祉・医療等との連携
発達、生理・病理	医学的理解－行動上の問題・てんかん－
	小・中学校に在籍する健康面への配慮が必要な児童・生徒の理解
	発生期、胎生期及び周産期における障害
	中枢神経系における障害
各障害に関連する諸検査	主な検査の種類と方法及び留意事項－発達検査法と知能検査法－
	検査の意義とアセスメント－アセスメントの目的と意義－
	視覚検査法
	聴力検査

「障害種別の専門性」一覧

令和４年６月１日現在

コース	コンテンツ名
視覚障害	視覚障害の特性と教育課程
	視覚障害教育における教科等の指導とキャリア教育・職業教育
	視覚障害教育における情報機器等の活用
	視覚障害教育における自立活動
	視覚に障害のある子どもにおける触覚活用
	視覚障害教育における教科指導法－国語の指導－
	視覚障害児の認知と指導
	弱視学級における指導と学習支援
	弱視用視覚補助具概論－弱視レンズの選定と指導－
聴覚障害	きこえのしくみと検査・補聴機器
	聴覚障害児のコミュニケーション
	聴覚障害児への教育的支援
	聴覚障害教育概論
	聴覚障害乳幼児の療育と指導
	手話の活用
	聴覚機能の理解と指導
	特別支援学校（聴覚障害）における進路指導・職業教育 －キャリア教育の充実－
	聴覚障害児の自己理解と教育
知的障害	知的障害の理解と教育的対応の基本
	知的障害教育における教育課程の編成① －知的障害教育における教育課程の考え方－
	知的障害教育における教育課程の編成② －知的障害教育における各教科－

「障害種別の専門性」一覧（つづき）

令和４年６月１日現在

コース	コンテンツ名
知的障害	知的障害教育における教育課程の編成③ －知的障害教育における道徳科及び領域等－
	知的障害教育の各教科における指導の工夫① －指導計画の作成と内容の取扱いの要点 小学部－
	知的障害教育の各教科における指導の工夫② －指導計画の作成と内容の取扱いの要点 中学部－
	知的障害教育の各教科における指導の工夫③ －指導計画の作成と内容の取扱いの要点 高等部－
	知的障害教育の各教科における指導の工夫④ －指導計画の作成と各教科全体にわたる内容の取扱い－
	障害のある児童生徒のキャリア教育
	知的障害教育における自立活動の指導
	知的障害教育における主体的・対話的で深い学び
	知的障害教育における各教科等を合わせた指導① －各教科等を合わせた指導の考え方－
	知的障害教育における各教科等を合わせた指導② －日常生活の指導、遊びの指導－
	知的障害教育における各教科等を合わせた指導③ －生活単元学習、作業学習－
	知的障害教育の教育課程の歴史① －知的障害教育の学習指導要領制定までの歩み－
	知的障害教育の教育課程の歴史② －知的障害教育の学習指導要領の変遷－
肢体不自由	肢体不自由の定義と障害特性
	肢体不自由教育における教育課程
	肢体不自由教育の実際その１
	肢体不自由教育の実際その２
	肢体不自由教育における自立活動の指導
	肢体不自由のある子どもへのＡＡＣ
	肢体不自由教育におけるＩＣＦの活用
	肢体不自由教育の歴史
	小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する実態
病弱・身体虚弱	病弱・身体虚弱教育の特性と教育課程
	病弱・身体虚弱教育における指導の実際
	病弱・身体虚弱教育における情報機器活用の実際
	子どもの身体発育と運動発達
	病弱教育の歴史
	慢性疾患の理解
言語障害	言語障害の定義・特性・分類　言語障害教育の制度
	言語障害のある児童生徒の理解と指導 －構音障害・吃音障害－
	言語障害のある児童生徒の理解と指導 －言語機能の基礎的事項の発達の遅れや偏りに関する障害－
	構音障害の理解と指導
	吃音の理解と対応 －自己肯定感への支援－
	口唇口蓋裂の医療
	言語障害教育の現状と課題 －全国調査の結果から－
	ことばの遅れをめぐって

「障害種別の専門性」一覧（つづき）

令和４年６月１日現在

コース	コンテンツ名
情緒障害	情緒障害教育概論
	情緒障害のある児童生徒の指導と対応
	関係性の障害とその対応
	選択性かん黙などの心理的要因が関与する児童生徒の理解と指導
発達障害	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論（１）定義と判断
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論（２）学校における気づきと実態把握
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論（３）特性の理解
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論（４）特性に応じた指導
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論（５）個別の指導計画の作成と活用
	LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論（６）校内支援体制の構築
	自閉症教育概論
	自閉症のある児童生徒の自立活動の指導
	自閉症のある児童生徒の家族支援
	自閉症のある子どもの教育課程
	自閉症のある子どもの実態把握
	通常の学級における自閉症スペクトラム障害（ＡＳＤ）のある児童生徒の指導の対応
	自閉症のある子どものためのソーシャルスキル指導
	ADHD のある子どもの理解と対応
	発達障害のある子どもの思春期の課題と支援（前半）
	発達障害のある子どもの思春期の課題と支援（後半）
	幼児期の発達障害
	ＬＤのある子どもの理解と対応
	アセスメントの目的と活用
	発達障害のある子どもの通常の学級における支援 －協同学習による一人一人のちがいを生かす支援－
	発達障害のある子どもの通級による指導
重複障害	重複障害の概念と教育課程
	訪問教育における指導
	重複障害のある子どもの実態把握と指導の基本的観点
	重複障害のある子どものコミュニケーション
	盲ろうの子どもたちの理解と指導
	重複障害のある子どもとのコミュニケーションを支える環境づくり
	重複障害教育の現状と課題
	重度・重複障害者の卒後の支援 －地域における当事者中心の支援を目指して－
	盲ろうの子どもたちの指導の実際
	手厚い支援を必要としている子どもが主体となる教育計画と実践 －情報パッケージ「ぱれっと」の提案－
	医療的ケアを必要とする子どもへの対応

「通常の学級における学びの困難さに応じた指導」一覧

令和４年６月１日現在

コース	コンテンツ名
概論	学習指導要領にみる特別支援教育
	教育課程の連続性と個に応じた指導の充実
小学校段階	小学校国語
	小学校算数
	小学校社会
	小学校理科
	小学校生活科
	小学校音楽
	小学校図画工作
	小学校家庭
	小学校体育
	小学校外国語活動・外国語科
	小学校特別の教科道徳
	小学校特別活動
	小学校総合的な学習の時間
中学校・高等学校段階	中高国語
	中高数学
	中社会、高地歴・公民
	中高理科
	中外国語、高外国語 英語
	中高保健体育
	中高音楽
	中高美術
	中技術・家庭、高家庭
	中高特別活動
	中高道徳
	中高総合的な学習の時間
	高情報

「英語版」一覧

令和４年６月１日現在

コース	コンテンツ名
英語版コンテンツ	共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築（2015 年版英訳）
	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（１）障害児教育の歴史（2015 年版英訳）

最新のコンテンツ一覧はこちら→

NISE　Web サイト > NISE 学びラボ
https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online

最新の研究成果物リスト（研究成果報告書以外）

（令和４年５月１日現在）

NISE の近年の研究成果を教育現場に還元するために、研究成果報告書以外の研究成果物をリストにして提供します。都道府県教育委員会や教育センター等の担当の方が、研修会や研究協議会を企画・実施する際に、NISE の研究成果物を活用していただけるように、NISE のホームページでも最新情報を提供しています。

１．書籍

インクル関連	ここにヒントがある！インクルーシブ教育システムを進める 10 の実践　－「インクル COMPASS」で強みや課題をみつけよう－ （株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-574-5　令和３年３月
自閉症	特別支援学級での自閉症のある子どもの自立活動の指導　－確かに育つ！子ども、確かに高まる！教師の指導力－ （株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-575-2　令和３年３月
特別支援教育	特別支援教育の基礎・基本 2020　（株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-548-6　令和２年６月
知的障害	「知的障害のある子どもと共に学ぶ」を考える　－北欧の実践をふまえて－ （株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-489-2　平成 31 年１月
教育課程	小学校・中学校　通常の学級の先生のための手引き書　－通級による指導を通常の学級での指導に生かす－ （株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-450-2　平成 30 年２月
知的障害	育成を目指す資質・能力を踏まえた教育課程編成　－知的障害教育におけるアクティブ・ラーニングの活用－ （株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-446-5 C3037　平成 30 年１月
インクル関連	インクルーシブ教育システム構築に向けた地域における体制づくりのグランドデザイン　－文部科学省モデル事業等の実践を通じて－ （株）東洋館出版社　ISBN978-4-491-03374-7　平成 29 年７月
インクル関連	インクルーシブ教育システム構築のための学校における体制づくりのガイドブック　－全ての教員で取り組むために－ （株）東洋館出版社　ISBN978-4-491-03373-0　平成 29 年７月
病弱	病気の子どもの教育支援ガイド　（株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-406-9 C3037　平成 29 年３月
重複障害	手厚い支援を必要としている子どものための情報パッケージ「ぱれっと（PALETTE）」 －子どもが主体となる教育計画と実践をめざして－ （株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-372-7 C3037　平成 28 年９月
知的障害	「育成を目指す資質・能力」をはぐくむための知的障害教育における学習評価の実践ガイド－学習評価の９実践事例を踏まえて－ （株）ジアース教育新社　ISBN978-4-86371-384-0 C3037　平成 28 年９月

２．リーフレット

教育課程	特別支援教育における教育課程に関する総合的研究　令和３年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/966b8f7b123a927260469aa53f5f7a5b?frame_id=1235
肢体不自由	全国小・中学校肢体不自由特別支援学級での指導等に関する状況　令和３年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/083cf4d3c453088ad68d595546982b3f?frame_id=1235
肢体不自由	小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究 令和３年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/5e05240dd26f61653fb0fa1795b385ce?frame_id=1235
発達障害	発達障害のある子供の教育に関わる全ての教員の皆様へ　もしかして、それ・・・二次的な障害を生んでいるかも・・・？ 令和３年３月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/08f50f2da9864d68fd321cb3595a1aaa?frame_id=1235
インクル関連	「インクル COMPASS」ガイド　令和３年２月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/0268a82e3496739df67d904da372318f?frame_id=1235
言語障害	言語障害のある中学生の指導・支援の充実のために　令和２年５月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/b63291da546834b573084bb47ce544dc?frame_id=1235
自閉症	自閉症のある子どもの自立活動の指導について考えよう！令和２年５月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/a89cfe3fd46491ddf8b4e03e10562022?frame_id=1235
インクル関連	我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究　令和２年２月 －インクルーシブ教育システムを推進するための地域や学校等の主体的な取組を支援します　インクル COMPASS － https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/bfd14f4ac6c63022dcb6b929310c8761?frame_id=1235
病弱	精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究　－ Co-MaMe(連続性のある多相的多階層支援) － 令和２年１月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/e8ec1140df63665bb0e2bceea764638a?frame_id=1235

視覚障害	「視覚障害を伴う重複障害の児童生徒等の指導に関する研究」－特別支援学校（視覚障害）における指導を中心に － 平成 31 年 3 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/461abb9ee6ba1a2b30ec92c91cdd3f6b?frame_id=1235
インクル関連	「我が国のインクルーシブ教育システム構築に関する総合的研究」調査報告　平成 30 年 3 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/93eacda6121c450a0b843bca451a099e?frame_id=1235
教育課程	通常の学級と通級による指導の学びの連続性に焦点を当てて　平成 30 年 3 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/46f18d946d010e055a0547df7abd493c?frame_id=1235
自閉症	特別支援学校（知的障害）での自閉症教育の取組状況と課題（速報）　平成 29 年 3 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/91d5db7cd491b22652ba339d7034f5bc?frame_id=1235
重複障害	みなさまの身近に視覚と聴覚の両方に障害のある「盲ろう」のお子さんはいらっしゃいませんか？　平成 29 年 2 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/fefac0c84a2ac15ebaa8e954f4363a47?frame_id=1235
ICT・AT	特別支援教育で ICT を活用しよう　平成 28 年 11 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/6a5f44789228efe8865a427ab8401797?frame_id=1235

3．ガイドブック・事例集

肢体不自由	肢体不自由特別支援学級の指導ガイドブック－日々の指導に生かす肢体不自由教育の基礎・基本－改訂版　令和 4 年 3 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/c04b663058e4fa2c69a1af62a19a54d3?frame_id=1235
病弱	「入院児童生徒等への教育保障体制整備事業」事例整理集　令和 3 年 7 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/12c8180d4c6f63b0855b364aacffcb3d?frame_id=1235
教材・教具 病弱	病気療養等により支援が必要な児童生徒のための遠隔教育 Q & A　令和 3 年 7 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/0908359489de45c210cbbb953c62f86a?frame_id=1235
教育課程	インクルーシブ教育システムの推進を目指す特別支援学級の教育課程編成・実施ガイドブック －知的障害および自閉症・情緒障害特別支援学級を中心に－　令和 3 年 3 月 http://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/b77fa4ff447030a14189a71d3a483a96?frame_id=1235
重複障害	視覚と聴覚の両方に障害のある盲ろうの子どもたちの育ちと学びのために －教職員、保護者、関係するみなさまへ－　令和 3 年 3 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/9353ab9431f5f2e41a616f6cd3dc3fc1?frame_id=1235
聴覚障害	難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた研修パッケージ　令和 3 年 3 月 https://www.nise.go.jp/nc/study/others/disability_list/hearing/package
発達情緒	高等学校教員のための「通級による指導」ガイドブック　おさえておきたいQ＆A　令和 2 年 3 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/d7f998d2d7022ddb169848956db11b2d?frame_id=1235
インクル関連	令和 2 年度地域実践研究事業報告書　地域におけるインクルーシブ教育システムの推進　令和 3 年 5 月 https://www.nise.go.jp/nc/wysiwyg/file/download/1/7042
聴覚障害	聴覚障害教育　指導実践事例集　平成 30 年 3 月 http://inclusive.nise.go.jp/?page_id=106

4．調査報告書

重複障害	重複障害のある子供の教育に関する調査報告書　令和 3 年 3 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/0a3a3ace55c2950cfffc05b6e4f44148?frame_id=1235
聴覚障害	聴覚障害教育における教科指導等の充実に資する教材活用に関する調査（平成 29 年度）　令和 2 年 1 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/e3703dd71fa32dcab9e60483188315b5?frame_id=1235
視覚障害	特別支援学校（視覚障害）における重複障害幼児児童生徒に関する実態調査　調査報告書　平成 30 年 9 月 https://www.nise.go.jp/nc/cabinets/cabinet_files/download/1079/dd2de301a673b10df9a3156cf2bea2f4?frame_id=1235
生涯学習	障害者の生涯学習活動に関する実態調査　報告書　平成 30 年 3 月 https://www.nise.go.jp/nc/wysiwyg/file/download/1/1619
インクル関連	インクルーシブ教育システム構築の現状に関する調査報告書　平成 29 年 12 月 http://www.nise.go.jp/cms/7,14210,32,142.html
聴覚障害	特別支援学校（聴覚障害）におけるキャリア教育実態調査 報告書　平成 29 年 9 月 http://www.nise.go.jp/cms/7,13965,32,142.html
言語障害	全国難聴・言語障害学級及び通級指導教室実態調査 報告書　平成 29 年 9 月 http://www.nise.go.jp/cms/7,13964,32,142.html

NISEの財務・施設

● 予算・決算

令和４年度 予算額

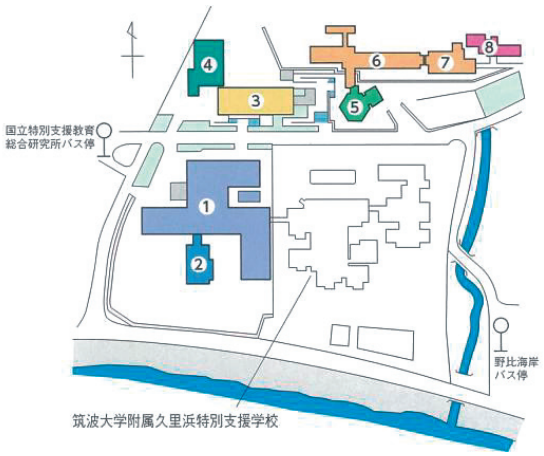
区分	金額（千円）
運営費交付金	1,084,169
施設整備費補助金	79,215
自己収入	4,970
合計	1,168,354

令和２年度 決算額

区分		金額（千円）
運営費事業	人件費	794,582
	物件費	454,322
施設整備費		29,326
寄附金		300
受託事業等（間接経費含む）		16,722
合計		1,295,252

● 建物

① 研究管理棟
② 特別支援教育情報センター棟
③ 研修棟
④ 体育館
⑤ 食堂棟
⑥ 西研修員宿泊棟
⑦ 東研修員宿泊棟
⑧ 生活支援研究棟



● 寄附のお願い

NISE の業務は、主として国からの運営費交付金等によって活動しておりますが、障害のある子供の教育のより一層の振興を図るため、広く皆様方からの寄附を受け入れています。

NISE の活動に御理解をいただき、皆様方からの御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今後とも我が国の特別支援教育の振興・充実に努めてまいりますので、何とぞ御理解・御協力を重ねてお願いいたします。

詳しくはこちら→ https://www.nise.go.jp/nc/fund

● 体育施設のご利用案内

体育館やフットサルコートをご利用いただけます。
＜ご利用可能時間＞
体育館：９時～ 19 時
フットサルコート：９時～ 17 時
土曜・日曜・祝祭日もご利用いただけます。

※ 現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外部への貸し出しを中止しています。
※ 最新の情報は Web サイトでお知らせいたします。





詳しくはこちら→ https://www.nise.go.jp/nc/physical_education

連絡先・交通案内

● 連絡先

◆ 国立特別支援教育総合研究所（総務部）

住所：〒 239-8585 神奈川県横須賀市野比 5-1-1

	電話番号	FAX 番号	E-mail アドレス
総務企画課	046（839）6803	046（839）6918	a-somu@nise.go.jp
財　務　課	046（839）6818	046（839）6916	
研修情報課	046（839）6889	046（839）6915	

◆ 西日本ブランチ広島オフィス（広島大学東広島キャンパス構内）

● 交通案内

◆ 京浜急行電鉄ご利用の場合

京急久里浜駅下車

久３ 系統・久里浜医療センター行で約 15 分、国立特別支援教育総合研究所下車すぐ

久８ 系統・野比海岸行で約 20 分、終点下車 300 m

又はタクシー約 8 分

YRP 野比駅下車

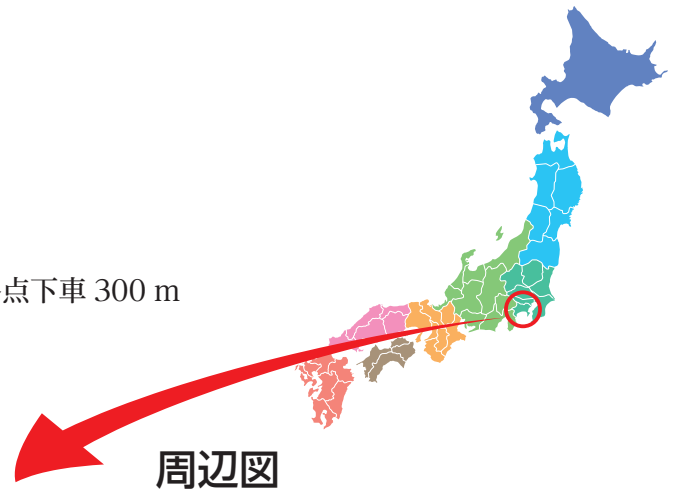
徒歩 20 分、又はタクシー約 5 分

◆ JR 横須賀線ご利用の場合

久里浜駅下車

久８ 系統・野比海岸行で約 15 分、終点下車 300 m

又はタクシー約 10 分



交通案内図



周辺図



NISE ロゴマークデザイン

春になると力強く芽吹く若葉。そのイメージである瑞々しさ、若々しさ、力強さを、特別支援教育のイメージと重ね合わせました。ロゴマークの上に配した丸い形は「障害のある子どもたちや保護者」を、その下に配した左の若葉は「NISE」を、右の若葉は「特別支援学校、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教育機関や医療・福祉・労働等関係諸機関」を表しています。二つの若葉は、お互いに連携・協力しながら、障害のある子どもたちや保護者を支えています。



NISE「子どもとともに」モニュメント

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所
National Institute of Special Needs Education

〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1

TEL 046-839-6803　FAX 046-839-6918

https://www.nise.go.jp/nc/

NISEメールマガジン

https://www.nise.go.jp/nc/about_nise/mail_mag

この要覧で紹介した研究成果報告書、インターネットによる講義配信「NISE学びラボ」、特総研ジャーナル、発達障害教育推進センター、研究所公開、研究所セミナー、インクルDBなどの詳しい内容は NISE でまとめて検索できます！

友だち追加で
特総研の情報をLINEでお届け！
https://page.line.me/126vsvuc

令和4年6月発行　特教研 D-389

VEGETABLE OIL INK

R60 古紙配合率60%再生紙を使用しています

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。